



# 平成29年度 センターニュース



2018, No,31

室蘭工業大学  
地域共同研究開発センター

# — 目 次 —

退任のご挨拶 .....	1
地域共同研究開発センター長 河合 秀樹	
新任のご挨拶 .....	2
地域共同研究開発センター長 吉成 哲	
1. 産学連携体制(平成29年度) .....	3
2. 事業実績 .....	4
3. 事業活動 .....	8
4. 地域共同研究開発センター研究協力会	
役員名簿 .....	22
加入企業 .....	23
5. 資料	
新聞記事 .....	32

## 表紙写真

上左：平成29年度 地域共同研究開発センター研究協力会役員会総会（7月10日）（10頁）

上右：バイオジャパン2017（10月12日）（11頁）

下左：平成29年度 フロンティア技術検討会（10月27日）（12頁）

下右：平成29年度 「金型技術研究会」「北のものづくり総合技術交流会」（11月15日）（17頁）

## 退任のご挨拶

地域共同研究開発センター長  
河合 秀樹

このたび、CRD センター長を退任するにあたりましてご挨拶申し上げます。後任には新しく吉成教授が来られ、柴田先生とともに本センターの刷新が期待されるところです。どうか引き続きご指導賜りますよう、お願い申し上げます。吉成先生は民間企業、道総研、弘前大学教授等、産学官の要職を経験された先生で、特許、共同研究などの実績も豊富であり、まさに本センターに適任な人材です。今後ますます外部資金の調達が重要かつ困難になる時代になると予想されますが、この時期に吉成先生を迎えることができたことは本学にとって大きな好機を得たと言えます。

CRD センター、並びにその所管である社会連携統括本部の役割は、地域社会への貢献を主目的の一つとする本学にとって、ますます重要な位置づけとなるでしょうが、例えば地域企業との共同研究一つとりましても、そのマッチングはかなり難しいものだと改めて思いました。地域企業が抱える課題は、これまで長い間その技術に真摯に携わって来られた熟練の人達をもってしてもなかなか越えられない、とても奥深いものがあります。大学人は限定的な分野でのシーズには強いですが、地域企業が持つ総合的な知識を駆使しなければ解決できない課題は手強く、むしろ大企業の体系的に組み入れられた中で発生する課題よりも難しいものが多いのではないのでしょうか。

また、地域企業の皆さんは、大学に持っていけば先端の技術や装置があるのだから「簡単に解決してくれるのではないか」と思われる傾向があって、そのようなシーズとニーズがマッチするケースは、ジャンルによって違いもあるでしょうが、相当少ないように思われます。

このような大きなギャップを放置し続けると、大学と企業の信頼関係にはマイナスに作用しかねず、我々がその調整役を担わなければならないことは重々認識しつつも、なかなか難しい問題であります。一つ可能性があるとするれば、いろんなジャンルに浸透する IoT 技術です。大学の最先端技術から派生する技術をより分かりやすく教育カリキュラムに組み込み、長年「ものづくり」に技能の心血を注がれ企業を離れられた熟練者の方々と、IoT の基礎を習得した現役学生がコラボし、かつての技術を今一度ハイテク化させる場を作り上げることができれば、地域の再生化に大きく貢献できるのではないかと考えます。研究と教育の一体、社会人の学び直し、これをベースに小さな課題点でもいいから、課題解決型インターンシップを展開し、細く長い信頼関係を地域と構築することができれば、活性化の機動部隊になれると思う次第です。

言うは易しですが、何らかのきっかけを見出たく、微力ながら後方から CRD センターを支援させて頂きたいと思えます。短い時間でしたが皆様から温かいご指導を賜りまして本当に有難うございました。引き続き本学、並びに CRD センターへのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

## 新任のご挨拶

地域共同研究開発センター  
センター長（教授） 吉成 哲

平成 29 年 11 月 1 日付けで、地域共同研究開発センター（CRD センター）のセンター長を拝命いたしました。当センターは、昭和 63 年度開設以来、大学の「知」を活用した地域産業の活性化への貢献を掲げ、地域支援機関等との連携のもと、様々な取組みを展開してまいりました。歴代センター長が培ってきた地域との関係という非常に大切な資産を、より一層充実・強化するために尽力する所存でございます。

私はこれまで、民間企業 2 社で産業機械の研究開発、北海道立総合研究機構工業試験場で製品加工および製品開発技術、弘前大学で智能機械工学の研究・教育に取り組んでまいりました。このうち、最も在籍期間の長い工業試験場では、ものづくり企業に対する技術開発、製品開発、改善等の支援、さらには関連する人材の育成に携わってきました。道内各地域の生活や産業に触れる中で、生活環境の維持と地域を支える産業の振興が車の両輪のように重要であると感じています。全道では第 1 次産業、胆振地域では工業、観光、物流などのウェイトが高いのですが、本学の持つ様々な分野のシーズと、産業界や自治体などのニーズとのマッチングを、丁寧に行っていきたいと考えています。

一方で河合前センター長をはじめ、歴代センター長が指摘している通り、地域企業が取り組む技術分野での課題は当該企業が既に手を尽くした対応を図っていたり、大学の先端的なシーズと地域ニーズの乖離が増々大きくなるなど、マッチングが難しくなっていることも否めません。しかしながら、例えば第 5 期科学技術基本計画で提唱された、Society 5.0 で実現する社会では、IoT で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、課題や困難の克服を目指しています。これまでの閉塞感を打破する先端的なシーズを社会実装することにより、イノベーションを創出していくことも地（知）の拠点である大学の役割であり、地域貢献の一つの切り口かと思えます。

リエゾン機能と知的財産の創成と活用を図る機能、地域や産業人への生涯教育や人材を育成する機能を一体で果たしていく組織として設置された「社会連携統括本部」は、平成 29 年度中に具体的な組織と運用形態が答申され、次年度から新たな枠組みで活動を開始することになります。どうか皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 1. 産学連携体制(平成29年度)

### 【センター長】

河合 秀樹 (もの創造系領域 教授)(平成28年4月1日から平成29年10月31日)  
吉成 哲 (もの創造系領域 教授)(平成29年11月1日から)

### 【副センター長】

清水 一道 (もの創造系領域 教授)(平成28年4月1日から平成30年3月31日)

### 【准教授】

柴田 義光 (もの創造系領域 准教授)

### 【URA】

富谷 信之 (平成29年9月1日から)

### 【事務補佐員】

高橋 美香

### 【コーディネーター】

石坂 淳二 (学外協力員)

### 【兼任教員】(社会連携統括本部)

中津川 誠 暮らし環境系領域 教授  
中野 博人 暮らし環境系領域 教授  
岸上 順一 しくみ情報系領域 教授  
風間 俊治 もの創造系領域 教授  
清水 一道 もの創造系領域 教授

### 【産学官連携支援室】

小笠原 光敏 (公財) 室蘭テクノセンター

### 【知的財産本部】

宮澤 邦夫 特任教授・統括マネージャー  
富谷 信之 知的財産コーディネーター(平成29年7月1日から8月31日まで)

## 2.事業実績(平成29年度)

### 2-1.民間等との共同研究

No.	大学側研究代表者			件数
1	しくみ情報系領域	教授	塩谷 浩之	3
2	しくみ情報系領域	教授	板倉 賢一	2
3	しくみ情報系領域	教授	福田 永	1
4	しくみ情報系領域	教授	岸上 順一	1
5	しくみ情報系領域	教授	長谷川 弘治	1
6	しくみ情報系領域	准教授	梶原 秀一	2
7	くらし環境系領域	教授	濱 幸雄	4
8	くらし環境系領域	教授	溝口 光男	3
9	くらし環境系領域	教授	中野 博人	2
10	くらし環境系領域	教授	木村 克俊	1
11	くらし環境系領域	教授	中津川 誠	1
12	くらし環境系領域	教授	大平 勇一	1
13	くらし環境系領域	教授	張 俗喆	1
14	くらし環境系領域	准教授	小室 雅人	4
15	くらし環境系領域	准教授	有村 幹治	2
16	くらし環境系領域	准教授	山中 真也	1
17	くらし環境系領域	准教授	徳樂 清孝	2
18	くらし環境系領域	准教授	上井 幸司	1
19	くらし環境系領域	講師	栗橋 祐介	1
20	くらし環境系領域	助教	永井 宏	1
21	くらし環境系領域	助教	浅田 拓海	1
22	くらし環境系領域	特任教授	宮澤 邦夫	1
23	もの創造系領域	教授	清水 一道	9
24	もの創造系領域	教授	平井 伸治	5
25	もの創造系領域	教授	相津 佳永	3
26	もの創造系領域	教授	亀川 厚則	3
27	もの創造系領域	教授	花島 直彦	3
28	もの創造系領域	教授	岸本 弘立	3
29	もの創造系領域	教授	今井 良二	2
30	もの創造系領域	教授	風間 俊治	1
31	もの創造系領域	教授	佐伯 功	1
32	もの創造系領域	教授	樋口 健	1
33	もの創造系領域	教授	藤木 裕行	1
34	もの創造系領域	教授	上羽 正純	1
35	もの創造系領域	准教授	成田 幸仁	9
36	もの創造系領域	准教授	境 昌宏	4
37	もの創造系領域	准教授	朴 峻秀	2
38	もの創造系領域	准教授	廣田 光智	1
39	もの創造系領域	准教授	溝端 一秀	1
40	もの創造系領域	講師	長船 康裕	1
41	もの創造系領域	講師	松本 大樹	1
42	もの創造系領域	助教	中田 大将	3
43	もの創造系領域	助教	河内 邦夫	1
44	もの創造系領域	助教	葛谷 俊博	1
45	もの創造系領域	助教	金 新哲	1
46	もの創造系領域	特任教授	世利 修美	2
47	航空宇宙機システム研究センター	特任教授	東野 和幸	1

## 2-2. 民間機関等からの受託研究

No.	大学側研究代表者			件数
1	しくみ情報系領域	教授	佐藤 孝紀	1
2	しくみ情報系領域	教授	塩谷 浩之	1
3	しくみ情報系領域	教授	関根 ちひろ	1
4	しくみ情報系領域	准教授	渡邊 真也	1
5	くらし環境系領域	教授	中津川 誠	2
6	くらし環境系領域	教授	木幡 行宏	1
7	くらし環境系領域	教授	張 俗喆	1
8	くらし環境系領域	教授	濱 幸雄	1
9	くらし環境系領域	准教授	有村 幹治	3
10	くらし環境系領域	准教授	吉田 英樹	2
11	くらし環境系領域	准教授	高瀬 裕也	2
12	くらし環境系領域	准教授	神田 康晴	1
13	くらし環境系領域	准教授	徳樂 清孝	1
14	くらし環境系領域	准教授	眞境名 達哉	1
15	くらし環境系領域	准教授	山中 真也	1
16	くらし環境系領域	准教授	上井 幸司	1
17	くらし環境系領域	助教	馬渡 康輝	1
18	もの創造系領域	教授	水上 雅人	2
19	もの創造系領域	教授	清水 一道	2
20	もの創造系領域	教授	上羽 正純	1
21	もの創造系領域	教授	河合 秀樹	1
22	もの創造系領域	教授	北沢 祥一	1
23	もの創造系領域	教授	佐伯 功	1
24	もの創造系領域	教授	平井 伸治	1
25	もの創造系領域	教授	岸本 弘立	1
26	もの創造系領域	准教授	境 昌宏	1
27	もの創造系領域	講師	松本 大樹	1

## 2-3. プレ共同研究

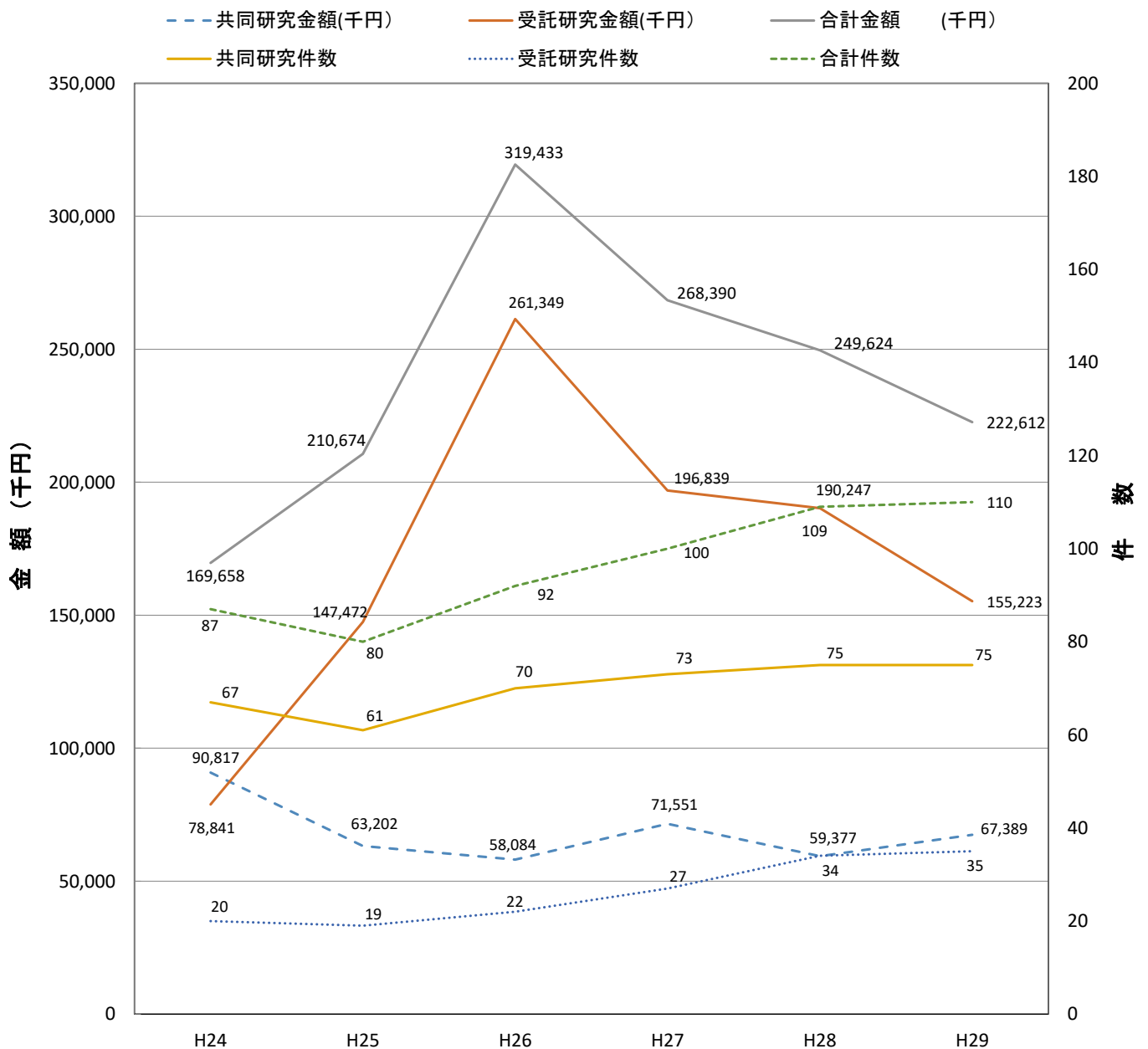
※研究代表者

No.	研究題目	大学側研究組織	民間機関等研究組織
1	新しい有機ゲルマニウム鎮痛薬候補物質の創製研究	※くらし環境系領域 教授 中野 博人	(株)浅井ゲルマニウム研究所 科学系マネジメント担当 佐藤 克行
2	超音波検査におけるきず自動抽出システムの実現	※しくみ情報系領域 准教授 渡邊 真也	日鋼検査サービス(株) 主任 松井 貴志
3	人工知能を用いた目的別気象図作成のためのシステム開発	※しくみ情報系領域 教授 塩谷 浩之	(株)雪研スノーイーターズ 代表取締役社長 植松 孝彦
4	パイ共役系高分子の電池材料への応用	※くらし環境系領域 助教 馬渡 康輝	Graphene New Materials Technology Engineer Zhang jingwen
5	左官アシストロボットの機能改良に向けた課題分析	※もの創造系領域 教授 相津 佳永	(株)南組 札幌支店 係長 福地 求
6	品質評価及び産地特定を目指した携帯型ニオイセンサシステムにおける稚内産珪藻土によるカラム充填剤の開発	※ひと文化系領域 准教授 上村 浩信	(有)稚内グリーンファクトリー 企画室室長 小見山 貢
7	水晶振動子センサー上に形成したナノ炭素グラフェン膜の構造	※もの創造系領域 准教授 柴山 義行	ファインクリスタル(株) 主任 山田 真也
8	水産加工品製造時に副生する魚油の活用法の開発のための基礎データの取得	※くらし環境系領域 准教授 上井 幸司	広洋水産(株) 総務部部長 横野 洋



### 「民間との共同研究」及び「受託研究」の件数と研究経費の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
共同研究金額(千円)	90,817	63,202	58,084	71,551	59,377	67,389
受託研究金額(千円)	78,841	147,472	261,349	196,839	190,247	155,223
合計金額 (千円)	169,658	210,674	319,433	268,390	249,624	222,612
共同研究件数	67	61	70	73	75	75
受託研究件数	20	19	22	27	34	35
合計件数	87	80	92	100	109	110



民間との共同研究及び受託研究の件数と研究経費の推移

### 3. 事業活動（平成 29 年度）

#### 1. 研究の活性化、共同研究の推進(10P～11P)

- (1) プレ共同研究(8件)
- (2) 研究協力会役員会および総会
- (3) ㈱電制との共同研究会議(5回)
- (4) ㈱メイセイエンジニアリングとの共同会議(28回)
- (5) 千代田商事㈱との共同研究会議
- (6) 技術相談(21件)

#### 2. 外部資金獲得、研究シーズの紹介・活動(11P～12P)

- (1) バイオジャパン 2017
- (2) JST新技術説明会
- (3) 企業訪問(22回)

#### 3. 人材育成(12P)

- (1) 出前講義

#### 4. セミナー、研修会、交流会の開催(12P～14P)

- (1) フロンティア技術検討会
- (2) 日本機械学会シニア会
- (3) 機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー
- (4) CFRP に関する技術交流会
- (5) X線CTスキャナ導入に関わる技術説明会

#### 5. 他機関との連携活動(14P～17P)

- (1) HiNT協議会・連絡会(12回)
- (2) 産学交流プラザ「創造」(12回)
- (3) コーディネーター会議(10回)
- (4) 産学官交流連携協議会・幹事会
- (5) 研究推進ハブURAステーション
- (6) コーディネーター・ネットワーク・フォーラム
- (7) 全道産学官ネットワーク推進協議会
- (8) コラボ産学官第2回運営委員会
- (9) 地域イノベーションエコシステム
- (10) 合同研究会
- (11) 苫小牧地域産学官金連携セミナー
- (12) 産学官連携研究成果報告会

#### 6. 各種展示会への出展(17P～19P)

- (1) 北洋銀行ものづくりテクノフェア 2017
- (2) メッセナゴヤ 2017
- (3) ビジネス EXP02017
- (4) 学内教員の展示会出展支援(2件)

#### 7. 他機関主催事業への参加(ニーズ・情報の収集活動)(19P～21P)

- (1) 工場試験場成果発表会
- (2) 北海道自動車産業集積促進協議会(HAIA)
- (3) 北海道自動車産業集積促進協議会総会・講演会
- (4) 航空機部品市場新規参入セミナー

- (5) オプショナル研修2017
- (6) RA協議会第3回年次大会
- (7) 第7回ものづくり研修会
- (8) JST平成29年度「産から学へのプレゼンテーションin岡山」
- (9) 2017ロシアビジネスセミナー「シベリアビジネスを展望する」
- (10) 技術向上のための道総研移動技術講習会
- (11) CoPRA分科会NEDO制度説明会
- (12) 苫小牧地域産学官金連携創立10周年記念再調印式並びに記念講演会
- (13) ロバスト農林水産工学フォーラム
- (14) エコプロ2017
- (15) 第22回URAアドバンスドセミナー
- (16) 北海道産学官プラットフォームセミナー
- (17) 地域イノベーションシンポジウム2018in函館

## **8. 広報(21P)**

- (1) 定期刊行物 (3件)

## 1. 研究の活性化、共同研究の推進 (6件)

### (1) 平成 29 年度プレ共同研究 (採択) (8 件)

日 時：平成 30 年 2 月 27 日 (火)・2 月 28 日 (水)・3 月 1 日 (木)・3 月 5 日 (月)

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 産学交流室 T202

- ①新しい有機ゲルマニウム鎮痛薬候補物質の創製研究  
くらし環境系領域 教授 中野 博人
- ②超音波検査におけるきず自動抽出システムの実現  
しくみ情報系領域 准教授 渡邊 真也
- ③人工知能を用いた目的別気象図作成のためのシステム開発  
しくみ情報系領域 教授 塩谷 浩之
- ④パイ共役系高分子の電池材料への応用  
くらし環境系領域 助教 馬渡 康輝
- ⑤左官アシストロボットの機能改良に向けた課題分析  
もの創造系領域 教授 相津 佳永
- ⑥品質評価及び産地特定を目指した携帯型ニオイセンサシステムにおける稚内産珪藻土  
によるカラム充填剤の開発  
ひと文化系領域 准教授 上村 浩信
- ⑦水晶振動子センサー上に形成したナノ炭素グラフェン膜の構造  
もの創造系領域 准教授 柴山 義行
- ⑧水産加工品製造時に副生する魚油の活用法の開発のための基礎データの取得  
くらし環境系領域 准教授 上井 幸司

### (2) 研究協力会役員会および総会

#### 【議 題】

1. 平成 28 年度活動・決算報告
2. 平成 29 年度事業計画 (案)、予算 (案) 等を協議

#### 【特別講演】

講 師：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 准教授 柴田 義光  
演 題：「地域ものづくり支援における CRD センターの役割」

#### 【情報交換会】

日 時：平成 29 年 7 月 10 日 (月) 17:30~19:00

場 所：中嶋神社 蓬峯殿 (室蘭市)

参加者：26 名

### (3) ㈱電制との共同研究会議 (5 回)

- ①日 時：平成 29 年 6 月 13 日 (火) 15:00~16:00
- ②日 時：平成 29 年 8 月 28 日 (月) 15:30~16:30
- ③日 時：平成 29 年 11 月 13 日 (月) 15:30~16:30
- ④日 時：平成 30 年 1 月 22 日 (月) 15:30~16:30
- ⑤日 時：平成 30 年 3 月 13 日 (火) 14:00~15:00

参加者：4~6 名 (相津先生 他)

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 会議室 T101

**(4) ㈱メイセイエンジニアリングとの共同会議 (28回)**

- ①日 時：平成29年4月26日(水) 15:00~16:00
- ②日 時：平成29年5月10日(水) 11:00~12:00
- ③日 時：平成29年5月29日(月) 11:00~12:00
- ④日 時：平成29年6月6日(火) 11:00~12:00
- ⑤日 時：平成29年6月14日(水) 11:00~12:00
- ⑥日 時：平成29年6月21日(水) 11:00~12:00
- ⑦日 時：平成29年6月30日(金) 10:00~12:00
- ⑧日 時：平成29年7月7日(金) 11:00~12:00
- ⑨日 時：平成29年7月14日(金) 11:00~12:00
- ⑩日 時：平成29年7月21日(金) 11:00~12:00
- ⑪日 時：平成29年8月1日(火) 13:00~14:00
- ⑫日 時：平成29年8月29日(火) 11:00~12:00
- ⑬日 時：平成29年9月8日(金) 13:00~14:00
- ⑭日 時：平成29年9月15日(金) 13:30~14:30
- ⑮日 時：平成29年9月22日(金) 11:00~12:00
- ⑯日 時：平成29年10月3日(火) 11:00~12:00
- ⑰日 時：平成29年10月10日(火) 11:00~12:00
- ⑱日 時：平成29年10月17日(火) 11:00~12:00
- ⑲日 時：平成29年10月24日(火) 11:00~12:00
- ⑳日 時：平成29年10月31日(火) 13:40~14:30
- ㉑日 時：平成29年11月7日(火) 11:00~12:00
- ㉒日 時：平成29年11月13日(月) 11:00~12:00
- ㉓日 時：平成29年11月21日(火) 11:00~12:00
- ㉔日 時：平成29年12月12日(火) 11:00~12:00
- ㉕日 時：平成30年1月9日(火) 11:00~12:00
- ㉖日 時：平成30年1月29日(月) 16:00~17:00
- ㉗日 時：平成30年1月30日(火) 10:00~12:00
- ㉘日 時：平成30年3月14日(水) 14:00~15:00

場 所：室蘭工業大学 V508, T107

参加者：2~3名

**(5) 千代田商事㈱との共同研究会議**

日 時：平成29年6月26日(月)~27日(火) 9:00~12:00

場 所：新日鐵住金㈱名古屋製鐵所

参加者：7~8名

**(6) 技術相談 (21件)**

## 2. 外部資金獲得、研究シーズの紹介・活動 (3 件)

### (1) バイオジャパン 2017

「アミロイドβ凝集阻害効果に基づく認知機能改善素材の開発」

室蘭工業大学 暮らし環境系領域 准教授 徳楽 清孝

暮らし環境系領域 准教授 上井 幸司

日 時：平成 29 年 10 月 11 日 (水) ～13 日 (金)

場 所：パシフィコ横浜

主 催：BioJapan 組織委員会

(株)JTB コミュニケーションデザイン

再生医療 JAPAN

一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム

一般社団法人バイオインダストリー協会

(株)JTB コミュニケーションデザイン

参加者：15,711 名 参加企業：983 社

### (2) JST 新技術説明会

「複数微生物を嫌気培養してなる中鎖脂肪酸の製造方法」

室蘭工業大学 暮らし環境系領域 教授 張 俗喆

日 時：平成 29 年 12 月 7 日 (木) 10:00～15:55

場 所：JST 東京本部別館 1F ホール

主 催：科学技術振興機構、北海道大学産学・地域協働推進機構

### (3) 企業訪問 (22 回)

## 3. 人材育成 (1 件)

### (1) 出前講義

講演会「ストーリー性のあるモノづくり」

テーマ：「デザインとストーリーのモノづくり」～明日のエンジニアを考える～

室蘭工業大学 キャリアサポートセンター 特任教授 高井 俊次

日 時：平成 29 年 11 月 14 日 (火)

場 所：TKP ガーデンシティ札幌駅前 5 階 5C 会議室

主 催：室蘭工業大学同窓会 札幌支部

室蘭工業大学同窓会 水元技術士会

協 力：室蘭工業大学同窓会 凜の会 (水元女性会)

参加者：50 名

## 4. セミナー、研修会、交流会の開催 (5 件)

### (1) フロンティア技術検討会

総合テーマ：「地域のものづくり力の向上をめざして」

テーマⅠ：「地域創生と産学官連携 - 産業界の熱力学の法則 -」

室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 副センター長 教授 清水 一道

テーマⅡ：「From vision to reality (ビジョンを掲げろ、現実となる!)」

(株)ミナロ代表取締役 Ocasila(株)代表取締役 NPO 法人 全日本製造業コマ大戦協会理事長

緑川 賢司

### 【産学官交流会】

主 催：室蘭地域産学官連携事業実行委員会

委員会構成

室蘭工業大学地域共同研究開発センター

室蘭工業大学地域共同研究開発センター研究協力会

(公財) 室蘭テクノセンター

産学交流プラザ「創造」

後 援：北海道胆振総合振興局、室蘭市、登別市、伊達市、室蘭商工会議所、登別商工会議所、伊達商工会議所、室蘭信用金庫、伊達信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、日本政策金融公庫、北海道新聞社室蘭支社、室蘭民報社、北海道中手企業家同友会西胆振支部、北海道 IM 連携促進会

日 時：平成 29 年 10 月 27 日（金）15：00～19：15

場 所：中嶋神社 蓬峯殿（室蘭市）

参加者：99 名

## (2) 日本機械学会シニア会

「化学と技術に関する公開講座」

テーマ：動力の技術革新と発展～風力タービンと蒸気機関に注目して～

日本機械学会北海道支部シニア会会員 岸浪 紘機

日 時：平成 29 年 10 月 14 日（土）13：30～15：00

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 産学交流室 T202

参加者：16 名

## (3) 機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー

総合テーマ：「進化する 3D プリント造形技術の最新動向と応用」

テーマⅠ：「3D プリンタ利用技術の最新動向」

道総研工業試験場 製品技術部 主任主査 戸羽 篤也

テーマⅡ：「金属 3D プリント技法を支える研究開発」

室蘭工業大学 工学研究科 もの創造系領域 講師 長船 康裕

テーマⅢ：「金属 3D プリンタによる製品の紹介」

(株)J・3D 代表取締役 高関 二三男

テーマⅣ：「3D プリンタ市場への誤解と JMC の出力サービス」

(株)JMC 代表取締役 CEO 渡邊 大和

主 催：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

(一社)北海道機械工業会（自動車プレス部会、機械製缶部会、札幌支部）

後 援：北海道プレス加工研究会、(公社)精密工学会北海道支部、

(一社)日本機械学会北海道支部、(公社)日本鋳造工学会北海道支部

(地独)北海道立総合研究機構工業試験場、室蘭工業大学地域共同研究開発センター研究協力会、異業種交流プラザ“創造”

日 時：平成 29 年 2 月 19 日（月）13：00～16：30

場 所：京王プラザホテル札幌 2 階 ローズ

参加者：84 名

## (4) CFRP に関する技術交流会

テーマⅠ：「CFRP、SiC など複合材料の研究開発」

室蘭工業大学 もの創造系領域 教授 朴 峻秀

テーマⅡ：「X 線 CT 装置の紹介」

室蘭工業大学 もの創造系領域 教授 清水 一道

主 催：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

日 時：平成 30 年 2 月 28 日（水）13：30～16：30

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 2 階 産学交流室 T202

参加者：15 名

(5)室蘭工業大学 X線CTスキャナ導入に関わる技術説明会

テーマⅠ：X線CTスキャナの活用について

室蘭工業大学 もの創造系領域 教授 清水 一道

テーマⅡ：X線CTスキャナデモンストレーション

東芝 IT コントロールシステム(株) 検査・メカトロシステム事業部

検査・メカトロシステム部 シニアエキスパート 富澤 雅美

日 時：平成30年3月19日(月) 14:00~16:00

平成30年3月20日(火) 10:00~12:00

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 2階 産学交流室 T202

5. 他機関との連携活動(12件)

(1)HiNT協議会・連絡会・セミナー

①主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年4月18日(火) 15:30~16:50

参加者：20名

②主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年5月17日(水) 15:30~16:30

参加者：16名

③主 催：HiNT運営協議会

日 時：平成29年5月25日(木)

参加者：20名

④主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年6月21日(水) 15:30~16:30

参加者：9名

⑤主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年7月19日(水) 15:30~16:30

参加者：11名

⑥主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年9月20日(水) 15:30~16:30

参加者：13名

⑦主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年10月18日(水) 15:30~16:40

参加者：13名

⑧主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年11月15日(水) 15:30~16:30

参加者：9名

⑨主 催：HiNT連絡会

日 時：平成29年12月20日(水) 15:30~16:30

参加者：10名

⑩主 催：HiNT連絡会

日 時：平成30年1月24日(水) 15:30~16:30

参加者：8名

⑪主 催：HiNT連絡会

日 時：平成30年2月21日(水) 15:30~16:45

参加者：12名

⑫主 催：HiNT運営協議会

日 時：平成30年3月16日(金) 10:00~12:00

参加者：16名

場 所：R&Bパーク札幌大通サテライト(札幌市)



## (2) 産学交流プラザ「創造」

### ① 定例会

北海道立室蘭高等技術専門学院内覧会

開催日：平成 29 年 4 月 13 日（木）

場 所：室蘭高等技術専門学院

参加者：20 名

### ② 定例会

高等技専との意見交換をテーマとする交流会

開催日：平成 29 年 4 月 27 日（木）

場 所：かめや

参加者：27 名

### ③ 第 1 回役員会

開催日：平成 29 年 5 月 11 日（木）

場 所：室蘭テクノセンター

参加者：役員 9 名、事務局 3 名

### ④ 総会・交流会

開催日：平成 29 年 5 月 30 日（火）

場 所：中嶋神社 蓬峯殿（室蘭市）

参加者：総会 45 名、交流会 44 名

### ⑤ 定例会（企業訪問・事業紹介）

開催日：平成 29 年 6 月 27 日（火）

場 所：(株)SR テクノ

参加者：見学 20 名、交流会 16 名

### ⑥ 定例会（企業訪問・事業紹介）

開催日：平成 29 年 7 月 25 日（火）

場 所：(株)室蘭民報社

参加者：見学 25 名、交流会 25 名

### ⑦ 第 2 回役員会

開催日：平成 29 年 8 月 2 日（水）

場 所：室蘭テクノセンター

参加者：役員 8 名、事務局 3 名

### ⑧ 定例会（岩手県宮古市訪問（経営者勉強会）報告会）

開催日：平成 29 年 8 月 30 日（水）

場 所：かめや

参加者：報告会 23 名、交流会 23 名

### ⑨ フロンティア技術検討会

「地域のものづくりの向上を目指して」

講 師：室蘭工業大学 もの創造系領域 教授 清水 一道

(株)ミナロ 代表取締役 緑川 賢司

開催日：平成 29 年 10 月 27 日（金）

場 所：中嶋神社 蓬峯殿（室蘭市）

参加者：99 名

### ⑩ 定例会（宮古・下閉伊モノづくりネットワークより講師をお招きしての勉強会）

開催日：平成 29 年 11 月 7 日（火）

場 所：哲屋

参加者：勉強会 32 名、交流会 21 名

### ⑪ 定例会（室蘭工業大学「新規導入設備（高分解能 X 線 CT スキャナ）見学会」

開催日：平成 30 年 2 月 26 日（月）

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター T108

参加者：見学 24 名、交流会 16 名

⑫定例会（㈱大久保電気工事 事業紹介）

開催日：平成 30 年 3 月 27 日（火）

場 所：かめや

参加者：事業紹介 25 名、交流会 25 名

(3) コーディネーター会議

①開催日：平成 29 年 4 月 26 日（水）

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

②開催日：平成 29 年 5 月 25 日（木）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

③開催日：平成 29 年 6 月 28 日（水）

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

④開催日：平成 29 年 7 月 26 日（水）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

⑤開催日：平成 29 年 9 月 20 日（水）

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

⑥開催日：平成 29 年 10 月 25 日（水）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

⑦開催日：平成 29 年 11 月 29 日（水）

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

⑧開催日：平成 30 年 1 月 24 日（水）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

⑨開催日：平成 30 年 2 月 21 日（水）

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

⑩開催日：平成 30 年 3 月 28 日（水）

場 所：（公財）室蘭テクノセンター

(4) 産学官金交流連携協議会・幹事会

開催日：平成 29 年 7 月 14 日（金）

場 所：苫小牧経済センタービル

(5) 研究推進ハブ URA ステーション

開催日：平成 29 年 10 月 20 日（金）

場 所：北海道大学 大学力強化推進本部 研究推進ハブ URA ステーション

(6) コーディネータ・ネットワーク・フォーラム

開催日：平成 29 年 11 月 1 日（水）

場 所：センチュリーロイヤル札幌

(7) 全道産学官ネットワーク推進協議会・講演会

開催日：平成 29 年 11 月 16 日（木）

場 所：北海道大学 北キャンパス フード&メディカルイノベーション国際拠点

(8) コラボ産学官第 2 回運営委員会

日 時：平成 29 年 12 月 6 日（水） 15：00～17：00

場 所：ナレッジソサエティ イベントルーム（東京都）

参加者：15 名

(9) 地域イノベーション・エコシステム

日 時：平成 30 年 1 月 18 日（木）13：00～16：40  
場 所：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール  
参加者：400 名

(10) 合同研究会

「金型技術研究会」「北のものづくり総合技術交流会」

【技術紹介】

TIG マイスターについて (株)日酸タナカ

【館内見学】

北海道立室蘭高等技術専門学院

日 時：平成 29 年 11 月 15 日（水）13：30～17：00

参加者：

【工場見学会】

光生アルミ北海道(株)

【講演会】

苫小牧テクノセンター

「射出成形の基礎と最近の研究」

岩手大学金型技術研究センター 客員教授 亀田 英一郎

日 時：平成 30 年 3 月 14 日（水）13：30～17：15

参加者：28 名

(11) 苫小牧地域産学官金連携セミナー

テーマⅠ：「家畜伝染病の継続的予防を目指して

～ものづくりの町「室蘭」からの挑戦～」

くらし環境系領域 准教授 山中 真也

テーマⅡ：「生活基盤を支える土の研究」

苫小牧工業高等専門学校 准教授 所 哲也

日 時：平成 30 年 3 月 22 日（木）15：00～17：00

場 所ホテルウィングインターナショナル 2 階「中ホール」（苫小牧市）

(12) 産学官連携研究成果報告会

開催日：平成 30 年 3 月 26 日（月）

場 所：小樽商科大学札幌サテライト大講義室

参加者：75 名

6. 各種展示会への出展（5 件）

(1) 北洋銀行ものづくりテクノフェア 2017

パネル展示等（本学関係分）

「サケマス回帰率向上のための ICT を活用したビッグデータ取得と利活用に関する研究」

しくみ情報系領域 教授 塩谷 浩之

「バイタルデータを活用した医療 AI 学習モデル」

しくみ情報系領域 教授 岸上 順一

「摩耗寿命を向上させた新規耐摩耗材料の研究開発」

もの創造系領域 教授 清水 一道

「オール北海道雇用創出・若者定着プロジェクト」

室蘭工業大学 地（知）の拠点推進室

【同日開催】

「道内企業と道内大学、高専、公設試の共同研究発掘フェア」セミナー

講師・室蘭工業大学 しくみ情報系 教授 塩谷 浩之

主催：北洋銀行

後援：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、(一社)北海道機械工業会、北海道経済連合会、(一社)北海道商工会議所連合会、(一社)北海道中小企業家同友会、札幌商工会議所、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部、国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター、(地独)北海道立総合研究機構、(一社)北海道発明協会、(公財)北海道中小企業総合支援センター、(公財)北海道科学技術総合振興センター、北海道自動車産業集積促進協議会、札幌証券取引所、(一財)省エネルギーセンター北海道支部、(公財)北海道環境財団、(一財)さっぽろ産業振興財団、EMS-JP 北海道支部、(株)北海道二十一世紀総合研究所、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、旭川商工会議所、(公財)函館地域産業振興財団、(公財)大田区産業振興協会

協力：北海道大学、室蘭工業大学、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学、札幌医科大学、札幌市立大学、東京農業大学オホーツク実学センター、函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校

特別協力：(株)青森銀行、日本政策金融公庫札幌支店、札幌信用金庫、空知信用金庫、苫小牧信用金庫、旭川信用金庫、帯広信用金庫

日時：平成 29 年 7 月 20 日 (木)

場所：アクセスサッポロ (札幌市)

参加者：約 4,800 名 参加企業：220 社・団体

(2) メッセナゴヤ 2017

パネル展示等 (本学関係分)

「口蹄疫・鳥インフルエンザ等家畜伝染病防疫のための多機能粒状消石灰の実用化」

くらし環境系領域 准教授 山中 真也

くらし環境系領域 准教授 徳楽 清孝

くらし環境系領域 准教授 上井 幸司

日時：平成 29 年 11 月 8 日 (水) ~ 9 日 (木) 10:00~17:00

10 日 (金) 10:00~18:00 11 日 (土) 10:00~16:00

場所：ポートメッセなごや (名古屋区港区金城ふ頭 2 丁目 2 番地)

参加者：8 日 (13,792 名)、9 日 (18,014 名)、10 日 (19,242 名)、11 日 (11,783 名)

合計 62,831 名

(3) ビジネス EXPO「第 31 回 北海道 技術・ビジネス交流会」

パネル展示等 (本学関係分)

「バイタルデータを活用した医療 AI 学習モデル」

しくみ情報系領域 教授 塩谷 浩之

「サケマス回帰率向上のための ICT を活用したビッグデータ取得と利活用に関する研究」

しくみ情報系領域 教授 岸上 順一

「口蹄疫・鳥インフルエンザ等家畜伝染病防疫のための多機能粒状消石灰の実用化」

くらし環境系領域 准教授 山中 真也

くらし環境系領域 准教授 徳楽 清孝

くらし環境系領域 准教授 上井 幸司

「オール北海道雇用創出・若者定着プロジェクト」

室蘭工業大学 地 (知) の拠点推進室

「室蘭工業大学 若手研究会」

もの創造系領域 准教授 雨海 有祐

主催：北海道 技術 技術・ビジネス交流会 実行委員会

日 時：平成 29 年 11 月 9 日（木）、10 日（金）10：00～17：00  
場 所：アクセスサッポロ（札幌市）  
参加者：20,850 名

**(4) 学内教員の展示会出展支援**

**①イノベーション・ジャパン 2017～大学見本市&ビジネスマッチング～**

パネル展示等（本学関係分）

「口蹄疫・鳥インフルエンザ等家畜伝染病防疫のための多機能粒状消石灰の実用化」

くらし環境系領域	准教授	山中 真也
くらし環境系領域	准教授	徳楽 清孝
くらし環境系領域	准教授	上井 幸司

日 時：平成 29 年 8 月 31 日（木）9：30～17：30

平成 29 年 9 月 1 日（金）9：00～17：00

場 所：東京ビッグサイト東 4 ホール（東京都）

参加者：1 日目（10,745 名）、2 日目（14,958 名）、合計 25,703 名

**②バイオジャパン 2017**

パネル展示等（本学関係分）

「アミロイドβ凝集阻害効果に基づく認知機能改善薬素材の開発」

くらし環境系領域	准教授	上井 幸司
くらし環境系領域	准教授	徳楽 清孝

日 時：平成 29 年 10 月 11 日～13 日（金）13：30～14：30

場 所：パシフィコ横浜（神奈川県）

参加者：15,711 名

**7. 他機関主催事業への参加（ニーズ・情報の収集活動）（17 件）**

**(1) 工場試験場成果発表会**

日 時：平成 29 年 5 月 31 日（水）12：00～17：00

場 所：ホテル札幌ガーデンパレス 2 階（札幌市）

**(2) 北海道自動車産業集積促進協議会（HAIA）**

日 時：平成 29 年 6 月 1 日（木）15：30～17：00

場 所：北海道庁本館 9 階 経済部 1 号会議室（札幌市）

**(3) 北海道自動車産業集積促進協議会総会・講演会**

日 時：平成 29 年 6 月 7 日（水）15：30～17：30

場 所：札幌教育文化会館講堂（札幌市）

**(4) 航空機部品市場新規参入セミナー**

主 催：経済産業省北海道経済産業局、北海道、（一社）北海道機械工業会

日 時：平成 29 年 8 月 7 日（月）13：30～16：00

場 所：ホテルマイステイズ札幌アスペン 2 階（札幌市）

**(5) オプショナル研修 2017**

～リサーチ・アドミニストレーター初心者向け～

主 催：リサーチ・アドミニストレーション協議会スキルプログラム専門委員会

日 時：平成 29 年 8 月 28 日（月）10：30～16：30

場 所：あわぎんホール 徳島県郷土文化会館（徳島県）

参加者：15 名

**(6) RA 協議会第3回年次大会**

主 催：リサーチ・アドミニストレーター協議会  
日 時：平成29年8月29日（火）17：00～18：00  
平成29年8月30日（水）18：30～20：00  
場 所：あわぎんホール 徳島県郷土文化会館（徳島県）  
参加者：559名

**(7) 第7回ものづくり研修会**

日 時：平成29年8月28日（月）16：00～18：00  
場 所：札幌パークホテル地下2階パークプラザA（札幌市）

**(8) JST 平成29年度「産から学へのプレゼンテーション in 岡山」**

主 催：国立研究開発法人科学技術機構  
日 時：平成29年10月5日（木）13：20～17：00  
場 所：岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム3階301会議室）

**(9) 2017 ロシアビジネスセミナー「シベリアビジネスを展望する」**

主 催：㈱FEC マネージメント、日露エコノミックスセンター㈱  
共 催：経済産業省北海道経済産業局、札幌市、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）、札幌商工会議所  
後 援：ジェトロ北海道  
日 時：平成29年10月19日（木）13：00～15：00  
場 所：北海道経済センタービル8階Aホール（札幌市）

**(10) 技術向上のための道総研移動技術講習会**

日 時：平成29年10月20日（金）13：30～15：40  
場 所：苫小牧テクノセンター2階会議室（苫小牧市）  
主 催：（地独）北海道立総合研究機構産業技術本部ものづくり支援センター  
共 催：（一社）北海道機械工業会苫小牧支部、苫小牧市テクノセンター

**(11) CoPURA 分科会 NEDO 制度説明会のお知らせ**

日 時：平成29年11月17日（金）16：00～17：30  
場 所：電気通信大学100周年キャンパスアライアンスセンター1階  
100周年記念ホール（東京都）

**(12) 苫小牧地域産学官金連携創立10周年記念再調印式並びに記念講演会**

日 時：平成29年11月28日（火）15：00  
場 所：ココトマ1Fラウンジ（苫小牧市）

**(13) ロバスト農林水産工学フォーラム**

日 時：平成29年11月30日（木）13：30～16：30  
場 所：北海道庁赤レンガ庁舎2階1号会議室（札幌市）

**(14) エコプロ2017**

日 時：平成29年12月7日（木）～9日（土）10：00～17：00  
場 所：東京ビッグサイト 東ホール（東京都）  
来場者数：7日53,034名、8日60,949名9日46,108名 合計160,091名

**(15) 第22回 URA アドバンスドセミナー**

開催日：平成30年1月18日（木）～19日（金）  
場 所：北海道大学（札幌市）

**(16) 北海道産学官プラットフォームセミナー**

開催日：平成30年1月17日（水）

場 所：ホテルウィングインターナショナル苫小牧

**(17) 地域イノベーションシンポジウム 2018in 函館**

日 時：平成30年2月15日（木）13：00～17：00

平成30年2月16日（金）9：30～11：45

場 所：函館北洋ビル 8階大・小ホール、9階会議室（函館市）

**8. 広報（3件）**

**(1) 定期刊行物**

①平成28年度センターニュース No. 30（平成30年2月発行）

②地域共同研究開発センター研究報告 No. 28（平成30年3月発行）

③研究シーズ集 2018（平成30年3月発行）

## 4.地域共同研究開発センター 研究協力会

### 役員名簿

(平成30年7月10日現在)

役員名	会社名	役職名	氏名
会長	新日鐵住金(株)棒線事業部室蘭製鐵所	生産技術部長	大津芳久
副会長	王子製紙(株)苫小牧工場	工場長代理	島瀬浩
副会長	(株)日本製鋼所室蘭研究所	副所長	梶川耕司
副会長	(株)光合金製作所	取締役会長	井上一郎
理事	日鋼検査サービス(株)	代表取締役会長	中村毅
監事	(株)栗林商会	部長	野村耕二
監事	日鉄住金セメント(株)	製品開発部長	若杉伸一

任期:平成29年4月1日～平成31年3月31日



研究協力会加入企業（平成30年4月以降）

企業名	代表者	住所	電話番号
1 株式会社 ASce http://asce-g.com	代表取締役 後藤 亮太	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目2番23号	011-826-5960
	自動車、食品、電子デバイス、医療関連など多岐にわたる分野における自動機器、省力機械の設計・製作（オーダーメイド）を行っております。自社開発製品としては針を使用しないで食材に調味液を注入する装置、ニードルレスインジェクターを開発し食品加工業界に展開中です。現在取り組んでいる事業としては協働ロボットシステム（人と共に働ける）を開発中で将来的には食品業界に展開していきたいと思っております。		
2 株式会社 キメラ http://www.chimera.co.jp/	代表取締役 藤井 徹也	〒050-0052 室蘭市香川町24-16	0143-55-5293
	主要製品： モールド金型（各光学機器機構部品・車載・OA機器外観・機構部品等）、プレス金型（精密接続端子・スイッチ等）、各種金型部品加工、精密金属機械加工、モールド金型設計・製作・試作 技術的特徴： 超精密（ミクロンオーダー）の型彫放電加工技術、高硬度直彫切削加工技術、自由曲面加工制御技術、熟練技能と先端IT技術を融合した研削加工技術		
3 株式会社 中山組 http://www.nakayamagumi.co.jp	取締役社長 中山 茂	〒065-8610 札幌市東区北19条東1丁目1番1号	011-741-7111
	1. 土木建築工事請負業 2. 土木建築工事に係わる設計及び技術の指導と提供等のコンサルティング業 3. 建築の設計及び工事監理 4. 不動産の売買及び管理・賃貸業 ほか 当社は1923年の創業以来、主に道内を中心に土木、建築の建設工事を行っています。		
4 株式会社 ビックボイス http://www.boisb.com/	代表取締役 佐々木 治郎	〒194-0021 東京都町田市中町1-4-2 町田新産業創造センター3階	042-794-7419
	東京都町田市に本社を置き、札幌市・函館市・芦別市に拠点があります。 企業向けWebシステム開発、Webサイト制作を主業務としており、企画・設計・開発・テストまでを一貫で行っています。 建設、行政、大学、銀行、病院などの分野に実績を持ちます。 他、仮想ネットワーク・サーバー構築・LAN工事、大学との研究開発、愛知県のものづくり産業へのIoT支援および共同研究開発（IoT・ドローン・自動運転・ハードウェア制御・ウェアラブルデバイス・Bluetooth通信等）を行っております。		
5 株式会社 南 組 http://www.minamigumi.co.jp	代表取締役社長 南 修	(本店) 〒058-0023 様似郡様似町栄町5番地 (支店) 〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条17丁目 番3番7号	0146-36-2311 011-595-7082
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木建築請負業</li> <li>・土木、建築に関する設計、工事監理業</li> <li>・構造物、建物、構築物の剥離、洗浄、補修、維持保守管理業</li> <li>・コンクリート製品の製造及び販売業</li> <li>・建設機械の賃貸業</li> </ul>		
6 株式会社 モノリス http://www.jing.co.jp/monolith/	代表取締役社長 藤瀬 秀昭	〒050-0087 室蘭市仲町12番地	0143-44-5002
	新日鐵住金(株)室蘭製鐵所構内において、大型ボイラー設備など製鉄プラント設備の設計・施工・修繕から秤量設備、空調設備などの設置メンテナンスなど中心に、胆振管内を拠点とした事業活動を展開しております。 また耐摩耗ファインセラミック配管の設計製作を行っており、全国各地の火力発電所に製品を納入しております。		

7	陣上工業 株式会社 http://www.jing.co.jp	代表取締役社長 杉上 亨	〒050-0087 室蘭市仲町16番地	0143-45-5121
		室蘭製鉄所の構内で原料や製品等の輸送及び全国への発送手配業務、環境事業ではプラスチックリサイクル工場並びに廃棄物焼却炉運営業務を行っています。 鉄の町「室蘭」の物流を支えて1世紀。陣上工業にしかできない物流サービスがあります。		
8	第一鉄鋼 株式会社 http://www.daiichi-tekkou.co.jp/	代表取締役社長 氏家 義太郎	〒050-0087 室蘭市仲町12番地	0143-47-8226
		新日鐵住金の連結子会社として室蘭、名古屋において鋼材品質検査・精整、二次加工処理、梱包及び設備保全などを主たる事業としている。 製造ラインにおける検査、手入、各種運転、工程管理のほか、製造ライン、設備の効率化や改善業務を行っている。		
9	中井聖建設 株式会社	代表取締役社長 中井 靖	〒003-0023 札幌市白石区南郷通3丁目北1番1号	011-861-6241
10	ナラサキスタックス 株式会社 http://www.narasaki-stax.co.jp/	代表取締役社長 秋元 茂樹	〒053-8522 苫小牧市元中野町2丁目13番24号	0144-35-2222
		北海道を本拠に港湾運送事業や海運代理店業務を展開しており、貨物の船揚げから倉庫保管、更にトラックでの配送など顧客のニーズに応じております。 この他にセメント専用船やケミカル船などを有し、全国規模で海上輸送を行っております。 また、認定通関業者として、陸海を通じて適正・迅速・確実に通関業務を行っております。 我が社は各部門が密接に連携し、あらゆるニーズに応えるサービス体制を整えています。		
11	北海道NSソリューションズ 株式会社 https://www.nssol.nssmc.com/hokkaido/	代表取締役 大岩 高雄	〒050-0084 室蘭市みゆき町2丁目13番1号	0143-45-3220
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムに関する企画・設計・開発および運用・保守</li> <li>・販売管理等の業務ソフトウェア製品の開発・導入および販売</li> <li>・情報システムに関する機器販売、アウトソーシング</li> <li>・情報セキュリティに関するコンサル及びインテグレーション</li> </ul>		
12	上山試錐工業(株) http://www.ueyama-shisui.co.jp	代表取締役社長 上山 弘	〒060-0032 札幌市中央区北2条東13丁目1番地の7	011-241-6516
		弊社は、建設業（さく井工・地下探査）・地質調査業（地質・土質調査試験）・建設コンサルタント業（地質解析、地すべり対策設計など）・測量業を生業として、創立59年を迎える技術コンサルタントです。 近年は、赤外線を使った外壁劣化診断や特殊車両を使った路面性状調査など、新たな研究開発分野に挑戦しています。		

13	(株)データベース <a href="http://www.data-g.com/database/">http://www.data-g.com/database/</a>	代表取締役 大森 康弘	〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目8番5号	011-726-7661
私たちデータベースは 上下水道施設等の水や環境に関わる施設の運転管理を通じて、地域住民の皆様の日常へ安心と安全をお届けするほか、自治体様の良きパートナーとして水関連事業をトータルでサポートし、事業者様業務の補完・支援・協働に取り組んでいます。				
14	パーソルAVCテクノロジー(株) <a href="https://www.persol-avct.co.jp/">https://www.persol-avct.co.jp/</a>	代表取締役 薄葉 洋	〒571-8504 大阪府門間市松生町1番15号	06-6906-2981
<ul style="list-style-type: none"> <li>■映像・音響機器、情報通信機器のソフトウェア及び機構設計、電気回路の開発・設計の受託</li> <li>■映像・音響機器、情報通信機器の製作・販売</li> <li>■映像・音響機器、コンピュータ関連システムの開発・設計・製作の受託</li> <li>■映像・音響機器、コンピュータ関連システム及びソフトウェアの販売・保守・運営の受託</li> <li>■情報処理システムの開発・設計・製作・保守・運営の受託、販売</li> </ul>				
15	(株)ワールド山内	代表取締役社長 山内 雄矢	〒061-1274 北広島市大曲工業団地4丁目3-33	011-377-5766
<p>ステンレス製品の高度技術加工  非鉄金属加工、金属加工  レーザー加工、機械加工、切削加工  各種製品の溶接・組立、表面処理、塗装</p>				
16	(株)ネクスコ・メンテナンス北海道 <a href="https://e-nexco-m-ho.co.jp/">https://e-nexco-m-ho.co.jp/</a>	代表取締役社長 田仲 博幸	〒003-0832 札幌市白石区北郷2条14丁目3番18号	011-874-9002
北海道内の高速道路において、清掃作業、植栽作業、交通事故復旧作業、雪氷作業、補修工事、災害復旧工事等を専門的に行う、ネクスコ東日本のグループ会社である。				

研究協力会加入企業

企業名	代表者	住所	電話番号
1 (株)アールアンドイー <a href="http://www.rande.co.jp/">http://www.rande.co.jp/</a>	代表取締役 北山 茂一	〒059-0462 登別市富浦町223番地1	0143-80-2233
産業廃棄物処理業(収運・中間・最終)及び再生材等の販売			
2 ㈱浅井ゲルマニウム研究所	代表取締役 志柿 松作	〒042-0958 函館市鈴蘭丘町3-131	0138-32-0032
1967年、50年前に世界発の水溶性有機ゲルマニウム化合物を合成し、安全性確認されたアサイゲルマニウムを、食品および化粧品原料として製造販売されています。また、その生理活性を研究開発することで用途開発等続けているパイオニア企業です。			
3 伊藤組土建(株) <a href="http://www.itogumi.co.jp/">http://www.itogumi.co.jp/</a>	代表取締役社長 玉木 勝美	〒060-8554 札幌市中央区北4条西4丁目1	011-261-6111
1)建設業、2)宅地建物取引業、3)建築の設計および工事監理 当社は明治26年創業以来、北海道を拠点として営業してきました。当社の理念の「誠心誠意」を忘れず、土木建築の建設工事を通じて北海道の発展に貢献していきたいと考えています。			
4 岩田地崎建設(株) <a href="http://www.iwata-gr.co.jp/">http://www.iwata-gr.co.jp/</a>	代表取締役社長 岩田 圭剛	〒060-8630 札幌市中央区北2条東17丁目2番地	011-221-2221
1)建築工事、2)土木工事、3)その他 建設工事全般に関する企画、測量、設計、監理、施工、エンジニアリング及びコンサルティング。			
5 岩見沢鋳物㈱	代表取締役 白井 雅人	〒068-0111 岩見沢市栗沢町由良497-3	0126-45-3492
6 HRS(株) <a href="https://h-r-s.co.jp">https://h-r-s.co.jp</a>	代表取締役社長 鈴木 哲夫	〒047-0005 小樽市勝納町8番39号	0134-22-7710
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査(地質・土質・環境・水質・交通量・雪)</li> <li>・計画・設計(道路・構造物・防災対策・農業土木・CAD)</li> <li>・情報(GIS・情報処理)</li> <li>・マネジメント(現場技術・計測)</li> <li>・測量(用地・路線・GPS)</li> <li>・補償調査</li> </ul>			
7 (株)エーティック <a href="http://www.a-tic.co.jp">http://www.a-tic.co.jp</a>	代表取締役社長 舟田 幸太郎	〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条5丁目6-1	011-644-2845
1)環境調査、2)地質調査、3)各種計画・設計、4)防災対策、5)計測・解析、6)施工・維持管理など、 プランニングからフィールドワークまで一貫したコンサルティングを提供する総合建設コンサルタントです。			
8 (株)エスイーシー <a href="http://www.hotweb.or.jp/sec/">http://www.hotweb.or.jp/sec/</a>	代表取締役社長 永井 英夫	〒040-8632 函館市末広町22番1号	0138-22-7188
1)情報通信系ソフト・ファーム・ハードウェア設計開発 2)各種アウトソーシングサービス 3)システムインテグレーション、インターネットプロバイダ			
9 ㈱荏原製作所	代表執行役社長 前田 東一	〒050-0067 室蘭市陣屋町2丁目4番15号	0143-50-2221

10	王子製紙(株) 苫小牧工場 <a href="http://www.ojipaper.co.jp/">http://www.ojipaper.co.jp/</a>	取締役工場長 植村 彰彦 紙・パルプ製造業	〒053-8711 苫小牧市王子町2丁目1-1	0144-32-0111
11	(株)郷葉 <a href="http://www.kyoyo.net">http://www.kyoyo.net</a>	代表取締役 浅田 恵史	〒003-0838 札幌市白石区北郷8条10丁目1-28	011-872-5221
		1) 建築業 ①大型建物に於ける金物施工図作成、自社工場製作・取付 ②メンテナンスラダー設計・自社工場製作・取付・ ③太陽光架台設計・自社工場製作・取付 2) 通信鉄塔 携帯基地局鉄塔設計・製作・施工		
12	栗林機工(株) <a href="http://www.kikounet.co.jp/">http://www.kikounet.co.jp/</a>	代表取締役社長 栗林 和徳	〒050-0082 室蘭市寿町3丁目4-2	0143-44-6001
		1. 設計業務(機械・プラント配管等の計画設計), 2. 各種機械・プラントの据付及びメンテナンス, 工事管理(マネジメント), 配管工事(下水, 上水, 油圧, 石油・化学プラント一式), 3. 土木, 建築工事(一級建築士事務所)一式, 4. 大型油圧/クローラクレーン賃貸業(550t, 200t その他各種保有), 5. 技術士事務所(機械・総合技術監理), 6. 安全コンサルタント事務所(機械・建築), 7. 陸上・海上輸送営業業務 得意分野: 1) 大型機械据付計画及び現地工事, 2) 石油・化学プラントの動機械, 静機械メンテナンス(全国展開の実績), 3) 港湾荷役機械・天井クレーンの据付・点検・補修業務, 4) 油圧機器, 配管の設計及び施工		
13	(株)栗林商会 <a href="http://www.kurinet.co.jp/">http://www.kurinet.co.jp/</a>	取締役社長 栗林 和徳	〒051-0023 室蘭市入江町1-19	0143-24-7011
		運輸・船舶代理店事業 商事事業 保険事業		
14	(株)コーノ <a href="http://www.kohno.info/">http://www.kohno.info/</a>	代表取締役 阿部 俊夫	〒041-0824 函館市西桔梗町213番地の82	0138-49-1071
		「熱と水をキーワードに北海道、東北で新産業を創造する」を経営理念とし、熱と水に係わる省エネ機器を開発・製造・販売しています。 平成21年度、熱源内蔵型FF式真空暖房機「HPH」を自社開発し発売。 平成21年度「北海道新技術・新製品開発賞」受賞。		
15	こぶし建設(株) <a href="http://www.kensonet.co.jp/kobushi/">http://www.kensonet.co.jp/kobushi/</a>	代表取締役社長 澤口 良二	〒068-0833 岩見沢市志文町966番地15	0126-25-3377
		官庁土木工事の請負事業を営む道内企業です。		
16	産業振興(株) 室蘭事業所 <a href="http://www.sangyoshinko.co.jp/">http://www.sangyoshinko.co.jp/</a>	執行役員所長 小玉 亨	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-44-5334
17	清水鋼鐵(株) 苫小牧製鋼所 <a href="http://www.shimizusteel.co.jp/">http://www.shimizusteel.co.jp/</a>	代表取締役社長 苫小牧製鋼所長 清水 孝	〒059-1372 苫小牧市字勇払145-13	0144-56-1111
		直流電気炉により道内発生鉄スクラップを主原料に溶解し鋼塊・鉄筋丸棒を製造・販売しております。 道内におけるリサイクル産業を振興し循環型社会の形成に寄与しております。		
18	新日鐵住金(株) 棒線事業部 室蘭製鐵所 <a href="http://www.nssmc.com">http://www.nssmc.com</a>	執行役員 室蘭製鐵所長 米澤 公敏	〒050-8550 室蘭市仲町12番地	0143-47-2111
		創業は1909年(明治42年)、北海道唯一の高炉を持つ製鉄所として発足し、夕張の石炭と噴火湾の砂鉄を原料として鉄づくりが始まった。 現在も道内唯一の銑鋼一貫製鉄所として、主に自動車のエンジンや駆動系、足まわり部品等に使用される高品質な特殊鋼棒鋼線材を製造している。 プラスチックリサイクル事業や副産物のスラグを活用し海岸の藻場を再生する「海の森づくり」等、地球環境改善の取り組みも行なっている。		

19	(株)水工リサーチ http://www.suiko-r.co.jp/	代表取締役 坂口 正美	〒062-0933 札幌市豊平区平岸3条3丁目2番7	011-812-7724
水理模型の企画、制作、実験、解析水理シミュレーション、各種水文資料解析				
20	(株)スガテック 室蘭支店 http://www.sugatec.co.jp/	執行役員支店長 東野 郁夫	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-44-2223
製鐵・化学・電力並びに環境分野を中心とした各種機械プラント設備の設計・製作・建設及びメンテナンス。				
21	千住金属工業(株) http://www.senju-m.co.jp/	取締役社長 鈴木 良一	〒120-8555 東京都足立区千住橋戸町23	03-3888-5151
はんだ各種・はんだ付装置・オイルレス軸受等の開発・製造・販売を行ない、高いシェアを持っています。 環境対応鉛フリーはんだの世界一のメーカーで、特に世界トップシェアのはんだボールにおいて最小30 $\mu$ mのはんだボールを作る技術を開発し、次世代実装技術の開発に貢献できるように努力をしています。				
22	(株)田中組 http://www.tanakagumi.co.jp/	代表取締役社長 松村 敏文	〒060-0006 札幌市中央区北6条西17丁目17-5	011-611-3331
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築・土木その他建設工事の設計施工</li> <li>・建築工事に関する調査・企画等エンジニアリング、マネージメント、コンサルティング業務</li> <li>・不動産の売買・管理・運用・賃貸</li> <li>・地域開発・都市開発等の事業、及びこれらに関するエンジニアリング、マネージメント、コンサルティング業務</li> <li>・前記に関する一切の業務</li> </ul>				
23	千代田商事(株)	取締役社長 小泉 洋平	〒670-0976 姫路市中地字杉田421-1	079-294-2331
<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 産業用機械装置、機械部品の販売・設計・施工</li> <li>2, 鉄鋼及び非鉄金属関連製品の販売</li> <li>3, 燃料及び石油関連商品の販売</li> <li>4, 化学工業薬品、油脂、塗料その他化学製品の販売</li> <li>5, 各種工業用ゴム製品等化学製品の販売</li> <li>6, 各種機械の修理及び据付など建設工事の請負業</li> <li>7, 電子機械部品及び電子通信機の販売</li> </ol>				
24	(株)電制 http://www.dencom.co.jp/	代表取締役 田上 寛	〒067-0051 江別市工業町8番地の13	011-380-2101
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種電力監視制御システムの開発・設計・製造</li> <li>・ダム管理システムや各種通信システム等の開発・設計・製造</li> <li>・福祉機器や各種センサーの開発等</li> </ul>				
25	(株)ドーコン http://www.docon.jp/	代表取締役社長 佐藤 謙二	〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4-1	011-801-1510
26	(株)永澤機械	代表取締役 永澤 優	〒050-0083 室蘭市東町3丁目1番4号	0143-44-2888
当社は、精密切削加工を中心に素材の熱処理から機械加工、仕上げ組み立てまでの一貫製造を行い、各種産業機械部品等を製作させて頂いています。				
27	(株)檜崎製作所 http://www.narasaki-ss.co.jp	代表取締役社長 小櫻 義隆	〒050-0083 室蘭市東町3丁目1番4号	0143-59-3611
弊社は、水処理等環境製品、船舶上架施設、鉄管・ゲート、鉄鋼製品及び橋梁のメーカーとして、北海道を中心に全国的に事業を展開しています。 船舶上架施設や水処理装置などのオリジナル製品をさらにブラッシュアップし、多様化するニーズに応えることで進化を遂げていきます。				

28	(株)西野製作所 http://nishinoseisakusyo.jp/	代表取締役 西野 義人	〒050-0075 室蘭市中島本町1丁目11番16号	0143-44-5945
弊社は一般産業機械部品の製作及び修理を主業務として創業いたしました。現在では、溶射加工、硬質クロムメッキ、特殊溶接等の各種表面処理なども取り入れ、機械部品の寸法復元、耐久性性能復帰など高付加価値、多品種少量生産に一貫して対応できる体制を確立し、短納期、低価格を実現いたします。				
29	(株)西村組 http://www.nishimura.co.jp/	代表取締役 西村 幸浩	〒099-6404 紋別郡湧別町栄町133-1	01586-5-2111
当社は作業船を用いた、港湾工事や水産土木工事を施工することで、物流促進や水産物の安定供給に寄与できればと考えています。				
30	日鋼検査サービス(株) http://www.nikkoukensa.co.jp/	代表取締役社長 中村 毅	〒051-8505 室蘭市茶津町4番地1	0143-22-8386
弊社は、(株)日本製鋼所で製作された大型溶接構造物、鑄鍛鋼品の試験・検査で長年培われた技術を基盤とし、自社開発した技術を用いてプラントの総合保全に貢献致します。(各種非破壊検査、熱交換器伝熱管検査、タンク底板連続肉厚検査、各種材料試験、破損原因調査、余寿命診断、鉄鋼分析、環境分析)。				
31	日鋼MEC(株) http://www.jme.co.jp/	代表取締役社長 小野 信市	〒051-8506 室蘭市茶津町2番地1	0143-24-2744
当社は、組立・溶接、圧延、鑄造の「ものづくり」を行うと共に、設計、工場設備のメンテナンス・機械装置類の設置工事、プラント建設の建築・土木等工事及び緑化工事を行っております。それらの業務分野において、信頼される技術、製品、サービスをお客様に提供することにより、社会の発展に貢献し、豊かな暮らしの実現を目指してまいります。				
32	日鉄住金セメント(株) http://www.ns-cement.nssmc.com	代表取締役社長 吉村 康嗣	〒050-8510 室蘭市仲町64	0143-44-1693
地球環境に優しい高炉セメントを始め各種セメントの他、特殊製品としてセメント系地盤固化材、地盤注入材、コンクリート補修材等の製造・販売を通じて社会に貢献しています。				
33	日鉄住金 テクノロジー(株) 室蘭事業所 http://www.ns-cement.nssmc.com	室蘭事業所長 橋村 雅之	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-47-2925
鉄で培った豊かな技術とノウハウで、地球環境保全が注目される時代に相応しい技術を提供致します。主な業務分野は、1)成分分析、2)材料試験、3)環境アセスメント、4)省エネルギー診断で、お客様のニーズに迅速にお応えいたします。				
34	日鉄住金 テックスエンジ(株) 室蘭支店 http://www.tex.nssmc.com/	執行役員支店長 森高 常之	〒050-0087 室蘭市仲町12	0143-44-1020
当社は主に鉄鋼分野を中心に、設備のメンテナンス(整備)や生産の操業、さらに機械・電気計装・土木・建築などの設計・施工や制御系システムの製作を行っている会社です。				
35	(株)日本製鋼所 室蘭製作所 http://www.jsw.co.jp/	執行役員 室蘭製作所長 岩本 隆志	〒051-8505 室蘭市茶津町4	0143-22-0143
日本製鋼所は、その名の示すとおり「鋼づくり」が原点です。室蘭製鐵所は当社の発祥の地として明治40年(1907年)に創業を始めました。創業以来、長年にわたり培われた高度な技術を基礎に匠の技が創り出す優れた鋼は、14,000トン鍛錬プレスに代表される世界最大級の各種生産設備により高品質の大型鑄鍛鋼品、鋼板、鋼管、圧力容器などの製品群となり、世界のエネルギー産業を支えています。また最近では再生可能エネルギーである風力発電事業、および水素ステーション向け鋼製蓄圧器などにも取り組んでいます。				
36	日本通運(株) 室蘭支店 http://www.nittsu.co.jp/	支店長 野村 聖	〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目35番地1	0143-22-1151

37	(有)馬場機械製作所	代表取締役 馬場 義充	〒050-0074 室蘭市中島町4丁目17番9号	0143-45-4535
弊社は主に切削加工を中心に検査用試験片、治具、試作品製作、など略図、仕様書を以て部品、製品を提供しています。				
38	(株)光合金製作所 <a href="http://www.hikarigokin.co.jp/">http://www.hikarigokin.co.jp/</a>	取締役会長 井上 一郎	〒047-8686 小樽市港町6番1号	0134-32-1119
弊社は昭和二十二年の創業以来、寒冷地の快適な水環境の創造を企業理念に掲げ、寒冷地における不凍栓と関連機器の開発、製造、販売に取り組んでおります。				
39	(株)不動テトラ 北海道支店 <a href="http://www.fudotetra.co.jp/">http://www.fudotetra.co.jp/</a>	支店長 進藤 信博	〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3番地（北一条大和田ビル）	011-233-1640
①土木事業：陸上土木から海洋土木の幅広い分野において、社会インフラ施設の建設に携わっております。 ②地盤事業：業界ナンバーワンの地盤改良技術を持ち、幅広い地盤を強化して構造物を支えています。多くの自然災害において効果を発揮し、構造物の安全を守っています。 ③ブロック環境事業：「テトラポッド」に代表される消波根固ブロックを中心に型枠賃貸を行うとともに、水際線における様々な技術・設計サービスや、景観と生態系を守る製品の開発・販売を行っています。				
40	(株)北央技研 <a href="http://www.hokuogiken.co.jp/">http://www.hokuogiken.co.jp/</a>	代表取締役 吉田 隆	〒050-0063 室蘭市港北町1丁目3番15号	0143-58-1122
各種金属材料の非破壊検査				
41	北海道ガス(株)	執行役員技術開発研究所長 山岸 泰	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1丁目3-1	011-590-7700
CO2の排出量が少ないクリーンなエネルギーである天然ガスと、「ガスコージェネレーションシステム」「北ガス版HEMS」などの積雪寒冷地向け省エネシステムを融合することで、環境と快適な暮らしを両立する、北国の新しい生活文化を創造します。さらに、2016年度から電力事業にも参入し、北海道のエネルギーを支え、『地域のパイオニア』を目指します。				
42	北海道三祐(株) <a href="http://www.dosanyu.co.jp/">http://www.dosanyu.co.jp/</a>	代表取締役社長 笹浪 圭吾	〒002-0856 札幌市北区屯田6条8丁目9番12号	011-773-5121
1)一般土木事業、2)斜面崩壊防止事業、3)斜面緑化事業、4)パイプライン更正事業 自然環境の保全・創出並びに生活環境の整備事業に徹し “土と水と緑の調和を築く”をモットーに社会に貢献しております。				
43	(株)北海道特殊鋳鋼	代表取締役 伊藤 淳	〒068-0111 岩見沢市栗沢町由良497-3	0126-34-2501
44	北興工業(株) <a href="http://www.hokkoh-kogyo.co.jp/">http://www.hokkoh-kogyo.co.jp/</a>	代表取締役社長 萩 宰	〒051-0023 室蘭市入江町1-63	0143-23-0321
弊社は昭和19年設立以来、海洋土木を中心に道路及び河川工事等の一般土木工事部門と快適な街づくりを目指す建築工事部門を有し、確かな技術と豊かな経験、創造力、更には品質と環境における国際規格の取得で、皆様のご信頼に応え、地域社会へ貢献する企業として邁進しています。				
45	みぞぐち事業(株) <a href="http://www.mizoguchi-jigyuu.com">http://www.mizoguchi-jigyuu.com</a>	代表取締役 佐々木 義勝	〒041-0824 函館市西桔梗町589番地44	0138-48-0810
コンクリート構造物の診断・補修専門集団です。				
46	(株)村瀬鉄工所 札幌工場	取締役工場長 秋場 勝行	〒007-0885 札幌市東区北丘5条4丁目4-55	011-791-1187
明治40年創業で、現在はダクタイル異形管の専門メーカーとして、口径75～800mmの耐震用を含む国内規格品、ISO規格及び規格外特殊異形管を、本社函館工場、札幌工場で製造。				



47	室蘭ガス(株) <a href="http://www.murogas.co.jp/">http://www.murogas.co.jp/</a>	取締役社長 小林 敏彦	〒050-0081 室蘭市日の出町2丁目44番1号	0143-44-3156
当社は環境優位性の高い天然ガス・LPガス販売の他に、ガス機器全般や快適な空間造りの為のガスを使った冷房・暖房などの設計、販売、修理を通して環境に優しく安心・安全で豊かな暮らしのお手伝いをさせていただいています。				
48	室蘭工業大学 生活協同組合	専務理事 石橋 直樹	〒050-0071 室蘭市水元町36-8	0143-44-2994
49	医療法人五紀会 室蘭太平洋病院 <a href="http://taiheiyo.jp/">http://taiheiyo.jp/</a>	理事長 伊藤 真義	〒050-0054 室蘭市白鳥台5丁目19番2号	0143-59-2211
50	(公財) 室蘭テクノセンター <a href="http://www.murotech.or.jp/">http://www.murotech.or.jp/</a>	理事長 栗林 和徳	〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号	0143-45-1188
室蘭地域の中小企業振興の中核的支援機関として、室蘭工業大学との連携を図り、ものづくり創出支援をはじめとする各種制度を活用した企業の技術力向上、新製品・新技術の開発、市場開拓などの支援事業を行っています。				
51	(株)メイセイ・エンジニアリング <a href="http://www.mec-eng.co.jp/">http://www.mec-eng.co.jp/</a>	代表取締役社長 西潟 勝	〒050-0074 室蘭市中島町3丁目11番2号	0143-43-8113
1) 橋梁の設計(予備・詳細・補修)、2) 道路の設計(概略・予備・詳細)、3) 港湾・漁港・海岸構造物の設計、4) 一般構造物の設計(函渠・擁壁・法面工・雪崩予防施設・基礎工・その他道路付帯施設)、5) 河川、水路等の構造物設計(排水・樋門等)、6) 測量(基準点・水準・路線・用地等)、7) 地質調査、8) 環境調査、9) 施工管理				
52	大和工業(株) <a href="http://www.f-yamato.co.jp/">http://www.f-yamato.co.jp/</a>	代表取締役社長 黒龍 雅英	〒050-0085 室蘭市輪西町1丁目4番8号	0143-44-2664
弊社は昭和25年の創立以来、耐火物施工、鋼構造物施工等の業務を受注してまいりましたが、これと同時に大型窯炉設備の建設にも参加し、国内製鐵所の高炉、コークス炉等の建設に携わって参りました。今後も技術向上を進め客先のご要望にお応えする所存です。				
53	(株)INDETAIL <a href="https://www.indetail.co.jp/">https://www.indetail.co.jp/</a>	代表取締役社長 坪井 大輔	〒060-0042 札幌市中央区大通西9丁目3番地33	011-206-9235
ブロックチェーンやAIなど、先進技術の特徴としたIT企業です。札幌でエンジニアとして働き成長したい方を募集しています。一緒にローカルのロールモデルを目指しませんか？				

(54社中53社掲載)

## 5. 資料（平成 29 年度）

2017 年 7 月 21 日（金）室蘭民報 朝刊 17 面

### 胆振の技術アピール

札幌

北洋銀ものづくりテクノフェア



胆振管内のものづくり企業を紹介した胆振総合振興局ブース

【札幌】北洋銀行が主催する道内最大級のものづくり企業展示・商談会「ものづくりテクノフェア2017」

7月20日、札幌市白石区のアクセスサッポロで開かれ、220の企業・団体が出展した。胆振管内からも

胆振総合振興局や室蘭工業大学などがブースを構え、ものづくり産業の集積地である胆振の技術力をアピールした。

胆振総合振興局ブースには、室蘭市の「三好製作所 室蘭工場」をはじめ、登別市の「アール・アンド・イー」「カムイ電子」、苫小牧市の「木の繊維」「電気工事西川組」「北海道曹達」「レントック」「タナカコンサルタント」の8社が出展。

三好製作所はプラスチック加工による保冷弁当箱を展示した。今年4月に発売した「GELICOOL dome」はふたの内側にドーム型にすることでポリウムある盛り付けも崩さ

ずふたができる新作。魚戸一樹統括本部長兼室蘭工場長は「当初より発売時期が遅れたものの、好調に推移しています」と力をこめていた。

このほか、佐々木機工（室蘭市）は個別ブースを展開。実演を通し、特殊潤滑剤「パイスソル」や床補修剤「アイコート」などをアピール。室工大も産学官金連携ブースで地元企業に役立つ同大学の研究技術などを展示した。

中小機構北海道のブースでは西野製作所（室蘭市）など道内中小企業が共同開発した小型電気自動車（EV）「ネイクル」を展示。車体表面をウレタンコーティングした「ネイクル T

YPE-2」は、キタキツネを模したフォルムが特長で来場者の注目を集めていた。  
（北川誠）

## ものづくり振興を考える

フロンティア技術検討会を周知するチラシ

**第29回 フロンティア技術検討会**  
 地域のものづくり力の向上をめざして

日時 平成29年10月27日(金) 18:00~17:20(開会挨拶と講演会)  
 17:30~(座学型交流会)

会場 中興株式会社 蓬峽殿 室蘭市南17丁目1番6号 TEL:0143-44-2338

講演I 15:10~15:40(30分講演)

【地域創生と産学官連携 一産業界の熱力学の法則一】  
 講師：清水 一 道広  
 室蘭工業大学 産学官連携推進部 産学官連携推進課長  
 室蘭工業大学 産学官連携推進部 産学官連携推進課長  
 室蘭工業大学 産学官連携推進部 産学官連携推進課長

講演II 15:50~17:20(90分講演)

【From vision to reality (ビジョンを掲げる、現実となる)】  
 講師：緑川 賢 司氏  
 株式会社コマ 代表取締役  
 OGASALA Inc. 代表取締役  
 NPGS社 代表取締役

会場費 講演料 1,000円 (当日現金で支払う) (VISA) 申込先10120010

主催 室蘭市産業支援課 室蘭工業大学 産学官連携推進部 産学官連携推進課  
 共催 中興株式会社 蓬峽殿  
 後援 室蘭市 室蘭工業大学 産学官連携推進部 産学官連携推進課  
 協賛 室蘭市産業支援課 室蘭工業大学 産学官連携推進部 産学官連携推進課

■室蘭27日（金）  
 室蘭地域の産学官連携を推進する第29回フロンティア技術検討会が午後3時から、宮の森町の蓬峽殿で開かれる。「鋳物シンジケート」などに関する講演を通して地域のものづくり振興を考える。

室蘭地域産学官連携事業実行委員会主催。「地域のものづくり力の向上をめざして」をテーマに、室蘭工業大学ものづくり基盤センター長の清水一道教授が、鋳物企業が連携して

高付加価値製品の供給を目指す鋳物シンジケートの取り組みを紹介する。

さらに、コマを使って町工場の技術力を世界に発信する全日本製造業コマ大戦の仕掛け人、緑川賢司氏が中小企業から世界に視野を広げるビジョンの重要性について講演する。

講演会終了後、産学官交流会(会費3千円)も実施する。問い合わせは室蘭テクノセンター、電話0143・45局1188番へ。

室蘭地域産学官連携事業  
実行委員会主催の第29回フ

## 「ビジョンを持とう」

室蘭でフロンティア技術検討会

### 中小企業の可能性考える

フロンティア技術検討会が27日、室蘭市宮の森町の蓬峯殿で開かれ、地域のものづくりの方向上をテーマに、高い技術力を生かした中小企業の可能性を考えた。約100人が出席。町工場の技術を世界に発信する目的で、「全日本製造業コマ大戦」を開催する緑川賢司氏(横浜市・ミノロ代表取締役)が「From vision to reality (ビジョンを掲げろ、現実となる)と題し、中小企業の魅力向上について講演した。



ものづくりの力向上へ「ビジョン」の大切さを強調した  
緑川氏

緑川氏は製造業界全体の活性化を目指し、全国の町工場による「コマ大戦」を企画。直径2センチのこまに情熱を注ぐ中小企業の姿などを紹介し「思いを口にしながら、現実に近づけること。ビジョンを持てば大きく変わる」と未来を展望する大切さを呼び掛けた。室蘭工業大学理事補の清水一道教授は、産学官連携をテーマに、地域のニーズに応える人材育成やシップリサイクル、中小企業のノウハウを生かし、分担して

大手企業の発注に対応する「鋳物シンジケート」の取り組みなどを紹介した。  
(菅原啓)



室蘭のものづくり技術や製品をPRした「ビジネスEXPO」

## 室蘭技術 高い関心

ビジネスEXPO

【札幌】道内最大級の経済交流会「第31回ビジネスEXPO」が9日から札幌市白石区のアクセスサッポロで始まった。室蘭からも多くの企業・団体が出展し、自慢の技術や新製品をアピールした。10日まで。

北海道経済産業局などで構成する「北海道技術・ビジネス交流会実行委員会」主催。今回は道内外345の企業・団体が出展した。室蘭テクノセンターのブースには室蘭市中島町の「ア

イスジャパン」、崎守町の「サンパックス」、東町の「佐々木機工」、本輪西町の「三好製作所室蘭工場」の4企業が参加。アイスジャパンは今年の7月に販売開始した新しい消臭芳香剤を、佐々木機工は融雪剤などによる「塩害」から自動車を守る保護塗料を出品し、多くの関心を集めていた。

八丁平の「住まいのウチイケ」は、エイチ・イー・エス推進機構（札幌市）のブースを利用し初出展。同社による高断熱住宅の断面や、3枚ガラスと2枚ガラスの性能比較装置などを展示した。

仲町の「第一鉄鋼」と香川町の「キメラ」はものづくり企業で活躍する女性を紹介する「ものづくりなでしこゾーン」にブースを構え、ものづくりの魅力や自社製品・技術をPRした。

中小機構北海道のブースでは、中島本町の「西野製作所」が参加する寒冷地対応EV「ネイクル」を出展。屋外展示会場でのデモ走行などを行った。（北川誠）

## 「産学官の連携重要」

室蘭市議会  
議員会研修  
室工大教授が強調

室蘭市議会議員会(金浜元一会長)主催による室蘭工業大学の地域連携をテーマにした研修会が26日、室蘭市役所で開かれた。同大学の教授を講師に、学生の地域志向を高めるカリキュラム内容を学んだ。

室蘭、登別、伊達の3市議会から27人が参加した。講師は同大学地域共同研究開発(CRD)センターの吉成哲センター長と、同大(知)の拠点推進室の那須守室長が務めた。吉成センター長は地域連携に向けた大学の活動を紹介。特徴的な取り組みとし

て航空機分野やビッグデータを利用したサケ・マスの回帰率向上の研究などに触れ、「今後も産学官連携が重要になる」と語った。

那須室長は文部科学省が実施する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」授業の詳細を伝えた。「教育の中で企業との関係づくりを重点に取り組んでいる」と強調し、「①学生が残りたと思う就業情報提供・福利厚生②給与等雇用環境の改善③がまちづくりにつながると語った。

(粟田純樹)



室蘭工業大学の地域連携の活動内容を学んだ議員会研修会

室蘭工業大学が主導する、全国の中小の鋳物関連企業が共同で大手企業の大量発注のニーズに応えられる生産体制をつくる「鋳物シンジケート」事業で、鋳造品の内部検査ができるエックス線CTスキャナーが同大に導入された。道内初の高出力タイプで、試運転が進む。鋳物企業など29社による協同組合も4月に設立が決まり、事業が本格始動する。(要島暁浩)

■生産を分担

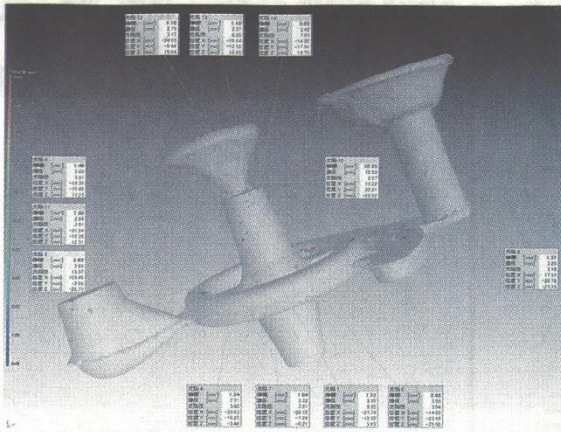
鋳物は、金属を溶かし鋳型に流し込むとできる金属製品。鋳造企業は大半が中小零細で、配管やマンホールなどの需要があったものの、新興国との激しい価格競争にさらされている。

一方で、大手鉄鋼メーカーや建設機械メーカーでは、通常の鋳物より熱や摩擦に強い「鋳鋼」でできた部材のニーズがある。大手の受注に対応するには高品質を維持し大量に納品できる能力が求められるが、中小企業が単独で請け負うのは難しい。そのため企業が

室工大 鋳物シンジケート事業

エックス線分析機導入

協同組合4月発足へ



生産を分担し合い、大学が品質保証する鋳物シンジケートで、高付加価値製品による業界の生き残りに向け、大手ニーズに応える。

■23社が賛同

これまでに地元をはじめ全国の企業23社が趣旨に賛同。4月に協同組合を設立する見通し。鋳造の企業だけでなく、地元室蘭市の永澤機械など機械加工を得意とする企業、熱処理の会社も参加する。

エックス線CTスキャナーを導入した。材料内部を、対象を破壊することなく評価できる分析装置で、同大地域共同研究開発センター(CRDセンター)で試運転に入っている。

品質管理、保証は、製品の質の確保や向上のため重要な工程で、同大はこれに対応し高分解能エッ

ックス線で撮影した画像は3次元立体映像で見られ、鋳物内部の欠陥を詳細に把握できる。導入した装置は鉄など鋳物内部を透過できる道内初の高出力タイプという。市場価格は1億円相当。同大は鋳物用の3Dプリンターも来月導入する。

■高付加価値

プロジェクトを主導する清水一彦教授(生産工学、加工学)は「単なる普通鋳物の生産の分野ではなく、

目指しているのは耐熱耐摩耗の鋳鋼を加工して、高付加価値の部材を大手に供給すること」と強調。「鋳鋼は加工が難しく室蘭の技術が必要。エックス線CTも画像を分析できる目利きも重要で、大学に人材はそろっている。試作、開発、解析を地域の大学でサポートできる」という。

月曜レポート

室工大に導入されたエックス線CTスキャナーが撮影した鋳物の透過画像。立体像で欠陥のある部分が色付きで表示される(室工大提供)

組合の結成後は大手からの試作品製作を兼ね、「2、3年後の受注を目指す」(清水教授)考え、シンジケートの手法は航空機分野などに応用も期待される。エックス線CTは鋳物シンジケート事業をメインにしながら、CRDセンターを窓口に関係企業も活用できるようにする。吉成哲CRDセンター長と栗田義光准教授(金属)は「既存製品の品質をさらに高め、利益が上がる仕組みを地場企業と考えていきたい」として

室工大CRDセンター

# 「学術指導」利用進む

技術相談 専門教員が助言  
研究開発

室蘭工業大学地域共同研究開発センター(CRDセンター)は、専門知識を持つ同大の教員の指導や助言が時間単位で受けられる「学術指導」制度を2017年度(平成29年度)に新たに創設し、利用が進んでいる。同センターは随時、利用を受け付けている。

同センターは、企業からの技術相談への対応や、企業と大学教員が共同して研究開発を行うためのワンス・トップ相談窓口。学術指導は、これまでの共同研究制度では対応できなかったコンサルティングや、高度な内容の調査などに対応できる。昨年4月に創設され、これまで数件の

利用があった。相談内容は、産業機械の改造や、製品の製造方法の改善、プリントの破損・腐食に強い部材の材料の選定などで、「室蘭地域の産業に貢献できる」(同センター)という。

機械系にとどまらず、建築、土木分野も大学に専門教員がおり、枠にとらわれず幅広い相談に応じる。同センターの柴田義光准教授(金属)は「大学教員と企業を結ぶ新たな試みで、企業の悩みに教員の蓄積の中で調査し回答していく。技術相談より難度の高い内容でも対応できる」といい、積極的な利用を呼び掛けている。

詳細は室工大CRDセン



## 新導入のエックス線検査機器

# 19、20日に説明会

### 室工大「鋳物組合」も設立へ

全国の中小の鋳物関連企業が共同で大手企業の大量発注のニーズに応える生産体制をつくる「鋳物シンジケート」事業で、室蘭工業

大学は19、20の両日、室蘭市水元町の地域共同研究開発センターで、導入したエックス線CTスキャナーの

企業向け説明会を開催する。20日には同事業の本格実施に向けた協同組合の設立総会を開く予定。

同大は経済産業省の補助を受け、鋳物の内部の欠陥を破壊せずに把握できる高出力のエックス線CTスキャナーを導入。多くの企業

に活用してもらおうと説明会を企画した。

対象は企業の担当者。19日は午後2時から、20日は午前10時からで2時間程度。両日も同じ内容。場所は2階の産学交流室。同事業を進める清水一彦教授(生産工学、加工工学)がエックス線CTスキャナーの活用について説明し、東芝ITコントロールシステムの担当者がデモンストレーションを行い、施設見学もできる。申し込みは9日まで。

清水教授は「品質管理は製品の質の向上に重要。4月以降に使用料なども決める予定で、まず機器がどのようなものか見てもらいたい」と呼び掛けている。詳細は清水教授、電話0143・46局5651番へ。

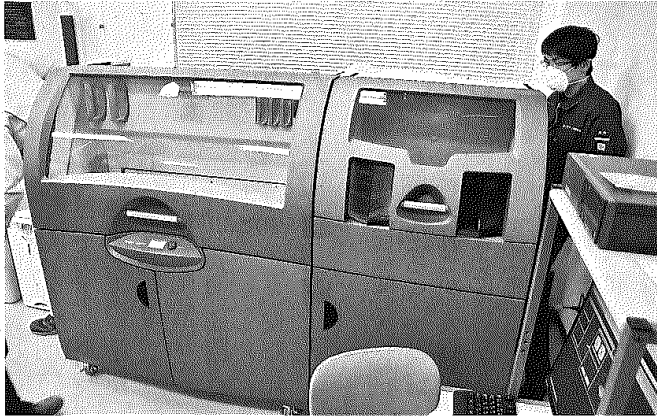
(栗島暁浩)

## 室工大と23社が特殊鋳物協同組合

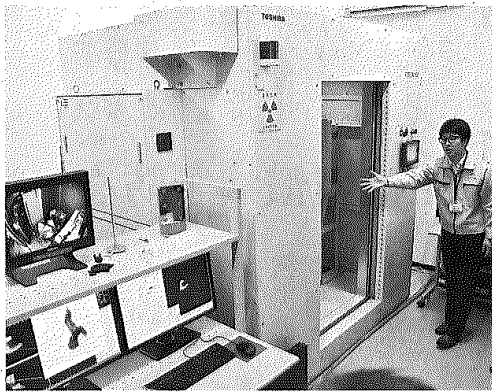
# 開発へ最新機器投入

20日に道内外の鋳物関連企業23社と特殊鋳物協同組合を創立した室蘭工業大は、新製品開発や生産の要となる最先端機器を同日公開した。道内で初めて導入した鋳物の型制作に特化した3次元プリンターと、エックス線コンピュータ断層撮影装置(CT)スキャナー。組合加盟社以外も利用でき、地元の製造業に活用してもらおう考えた。(生田憲)

## 3Dプリンター／CTスキャナー



⑤短期間での試作品開発を可能にする3Dプリンター  
⑥製品検査に使うエックス線CTスキャナー



鋳物関連業は中小企業が多く、企業単独で高価な機器を購入することが難しい。企業に共同利用してもらい、新製品開発や品質向上につなげる。一般的に鋳物は木製の原型を基に砂型を作るが、3次元プリンターは設計図を基に砂粒状の造形材を積み

重ねて型を作ることができる。通常は1週間～数カ月かかる鋳物の製造工程を、3日～1週間に短縮できるという。短期間でさまざまなパターンの試作品を作ることができる。

CTスキャナーは重さ8トンの箱型の装置。最大で縦横60センチの物を撮影でき、例えば車のシリンドラーのような鋳造品を分解することなく検査できる。製品を回転させて、360度方向からエックス線を照射して3次元像を作成。内部の傷や不純物の有無をコンピュータに抽出させて色分けして表示でき、設計図通りの寸法に仕上がっているか高い精度で確認できる。

加盟社以外の企業も利用できる。使用料はCTスキャナーが1時間1万円、3次元プリンターは今後定める。大学に助言を求めるところもできる。組合設立発起人の清水一進教授(機械材料学)は「技術指導や人材育成にも協力したい。地域の中小製造業に大学を利用して新しいことにチャレンジしてもらいたい」と話す。



## 道バイオ工業会、道機械工業会と協定 室工大、理工学的分野で連携へ

室蘭工業大は22日、北海道バイオ工業会、北海道機械工業会と連携・協力協定を締結した。同大は2019年度に理工学部への移行を目指しており、医療・生命科学など理工学的な分野で研究成果の還元や人材育成を進めたい考えだ。

協定は共同研究、人材交流、研究施設の相互利用など6項目での連携を盛り込んだ。具体的な事業内容は今後詰める。

3者は同日、調印式後に室工大で記者会見を開いた。道バイオ工業会の小砂憲一会長は興味を持っている研究として、アルツハイマー病の予防・治療法開発

を挙げ、「共同研究していきたい」と意欲を示した。道機械工業会の田中義克会長は室工大が持つ技術について「幅広く会員企業に知ってもらう機会を設けたい」と述べた。

同大は工学に加え、バイオ系分野などの知識を持った人材の育成を目指し、工学部から理工学部への再編を進めている。同大の空閑良寿学長は「人材育成の幅を広げたい。学生を育てていくという上でもみなさんに協力してほしい」と述べ、企業見学やインターンシップの受け入れに期待を示した。

(生田憲)



室蘭工業大学  
地域共同研究開発センター  
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号  
URL <http://www.muroran-it.ac.jp/crd/>  
E-mail: [crd@mmm.muroran-it.ac.jp](mailto:crd@mmm.muroran-it.ac.jp)  
TEL. (0143) 46-5860  
FAX. (0143) 46-5879